

2013年8月11日。

横浜文化体育館で第5回神奈川県空手道選手権大会 横浜カップが開催されました。
横浜北支部からは選手18名が出場し、5名が入賞しました。

小学1年生の部 優勝 渡辺民生



昨年の横浜カップで優勝し、今年の国際大会で入賞している渡辺が昨年に引き続き連覇。
ひと月前に必勝を期して関東大会に出場し、まさかの技ありを奪われて敗退した渡辺にとって、今大会は絶対に負けられない試合だった。
関東大会での反省を生かし、今大会では終始フットワークを止めず、ガードを下げることも無かった。
相手を圧倒する攻撃力を持ちながら防御力を高めた渡辺は危なげなく優勝を決めた。
大会ごとに課題を克服する渡辺は今後もますます進化していくに違いない。

小学3年生(+30kg級)の部 第3位 鄭 永優



2月の金太郎杯で入賞している鄭が安定感のある入賞。
豊富な稽古量で身につけた攻撃は破壊力抜群。
攻撃を繰り返すたびに相手選手の体が大きく揺れていた。
技の威力だけなら間違いなく全国レベル。
今後、その攻撃力をどう活かしていくかに期待がかかる。

中学2, 3年生男子(*55kg級)の部 第3位 強矢 港



今年から横浜北支部に移籍した強矢が3位に入賞。
受験を控えている為、満足な稽古はできていなかったが、試合が始まると持ち前の気の強さと多彩な足技で相手を圧倒。
準決勝では延長戦でスタミナが切れて敗退したが、今大会では高いポテンシャルを見せた。
受験が終わり、十分な稽古を積んだらどれだけ強くなるのか予想できない。

壮年45歳以上(*75kg級)の部 第3位 小泉啓次郎



今年で60歳になる小泉が衝撃の入賞。
自分より10歳以上若い選手と真っ向から打ち合う姿はまさに武人。
気力体力ともに衰えを見せないのは豊富な稽古量と自己管理の証。
ほぼ毎日道場で激しい稽古をする姿は、若い道場生にとって偉大なるお手本となっている。
これからも横浜北支部を盛り上げていく為に必要不可欠な存在だ。

壮年45歳以上(*75kg級)の部 第3位 水島英宣



長年のブランクから復帰し、コツコツと稽古を積んできた水島が3位に入賞
ブランクがあり、多忙な仕事をしながらの入賞は素晴らしいの一言。
今回の結果だけでも、どれだけ極真空手に情熱を持っているのかが分かる。
普段から寡黙に稽古に取り組む水島は、背中で後輩をひっぱるタイプ。
今大会の活躍も応援に駆け付けた後輩に勇気を与えたに違いない。

✕ 閉じる